

事務事業調査 平成23年度	No 652	課名 総務課	起案者 岩井友哉
事業種別 施設整備		係名 施設係	決裁者 平岩八尋
事務事業名 中学校施設改修事業		区分 継続	業務一覧No 2
		他係名	
		他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり		予算科目(会計)		一般会計
			予算科目(款・項・目)		50-15-5
			総合計画以外の計画		
			関連する総合計画の施策		4-3-2-3-2
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)		法定受託事務	無	
根拠法令	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	平成元年度	経過	22年目	終了
公約・議会答弁	有	H22.6太陽光発電設備の設置状況、H22.9・12トイレ改修について、H22.12・3普通教室への空調設備の設置につ			
陳情・市民要望	無				

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	生徒が	～になる	安全に学校生活を送ることができるようになる。
事務事業の内容	学校要望に基づき現地調査を行い、中学校施設の改修工事を実施します。また、改修工事を実施するにあたり、設計が必要な工事については、設計業務を実施します。			
事務事業進捗状況	学校要望に基づき、必要性や緊急度の高い工事を実施しています。			
改善・対策の履歴	一般競争入札を実施することにより、一工事当たりの単位コストを抑えることができました。学校等との調整を綿密に行い、学校生活に極力支障をきたさないようにしました。			
環境配慮の視点	環境目標○ー基本的施策○ー具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績
総事業費 f=a+d+e	36,130	27,009	15,301	40,580
財源計 a	35,000	25,879	15,000	40,279
財源の内訳				
国庫支出金	0	0	0	36,180
県支出金	0	0	0	0
市債	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0
一般財源	35,000	25,879	15,000	4,099
受益者負担金	0	0	0	0
職員人件費 d	1,130	1,130	301	301
内訳 従事職員数	0.15	0.15	0.04	0.04
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	改修工事	見込(単位)	4.00	0.00	5.00	11.00
				実績b(単位)	6.00	2.00	5.00	
		指標名(単位)	工事件数(件)	活動の総事業費f 実績	27,009	40,580	41,449	
				単位コストg=f÷b 実績	4,501.42	20,290.10	8,289.70	
	活動②	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		改修工事実施率(実施数/計画数)(%)		見込(単位)	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績(単位)	150.00	200.00	100.00	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		改修された学校で学ぶ生徒数(人)		見込(単位)	2,646.00	0.00	2,973.00	4,932.00
				実績(単位)	2,660.00	1,418.00	2,978.00	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	改修工事を行ったことにより、長期的な安全確保ができました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	優先度の高さを検討し、効率的に改修工事を行いました。 一般競争入札を実施し、工事価格の適正化に努めました。
	成果1,2	学校からの要望により、改修が必要な箇所の把握に努め、必要性の高い工事を選定し実施しました。 必要とされる工事を実施することにより、校内の安全性を高めることができました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	工事の優先度及び緊急度を熟考し、より効率の高い改修工事を行います。 生徒の安全を最優先に考え営繕工事を行います。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	生徒数の増加、施設の老朽化により改修が必要な箇所の増加が予想されるため、安全性や必要性を考慮し、効率的な改修工事を実施していきます。